

## ★リリース履歴 (R4.8~)

Revision	Release Date	What's the difference
R4.8	2012.01.20	Manager Windows版
		<ul style="list-style-type: none"> <li>被監視サーバとして、NX7700i/7020M-16, 7040M-32, 7080H-64, 7320H-256に対応しました。</li> <li>Windows版のOSが、XP/Vista/Server 2003の場合も、被監視サーバとして、NX7700i/7010E-8に対応しました。</li> <li>Windows Server 2008 R2(x64)に対応しました。</li> <li>Snmp Trapの監視対象機器をWindows版は9台、HP版は5台以上設定すると、起動に失敗する問題を修正しました。</li> </ul>
R4.81	2012.02.29	Manager/Agent HP-UX版
		<ul style="list-style-type: none"> <li>被監視サーバとして、NX7700i/7020M-16, 7040M-32, 7080H-64, 7320H-256に対応しました。</li> <li>HP-UX版は、httpsによる通報機能を追加しました。(Windows版はR4.1で対応済み。)</li> <li>Snmp Trapの監視対象機器をWindows版は9台、HP版は5台以上設定すると、起動に失敗する問題を修正しました。</li> <li>NXリモート通報の定期通報処理時に障害が発生すると、WebSAM連携ができない問題がありました。(Windows版はR4.4で対応)</li> </ul>
		Manager Windows版
R5.1	2013.03.29	<p>R4.8のWindows版で発生していた下記の問題を対処しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>SNMP Trapの監視において、特定の障害コードを含む SNMPを受信すると通報ができないなくなる。</li> </ul> <p>以下の問題を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象となる被監視サーバ: 5020M-16/5040H-32/5080H-64</li> <li>障害内容: Windows版のR4.81を使用している場合、iSPが障害を検出した際に、保守センタに障害ログを送付できないことがあります。 ただし、この場合であっても保守センタへの通報は行われます。</li> <li>対象となる被監視サーバ: 7020M-16/7040M-32/7080H-64</li> <li>障害内容: ネットワークの状態によってはBMCの死活状態を正しく監視できないことがあります。</li> <li>対象となる被監視サーバ: 7320H-256</li> <li>障害内容: SwitchのManagerモードにパスワードを設定している場合、Switchの状態によっては保守センタにSwitchの障害ログを送付できない場合があります。 ただし、この場合であっても保守センタへの通報は行われます。</li> </ul>
		Manager HP-UX版
		<ul style="list-style-type: none"> <li>被監視サーバとして8010E-16と8010B-16に対応しました。</li> <li>ファイバチャネル障害に関する通報対象事象を強化しました。</li> </ul> <p>以下の問題を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象となる被監視サーバ: 7020M-16/7040M-32/7080H-64</li> <li>障害内容: ネットワークの状態によってはBMCの死活状態を正しく監視できないことがあります。</li> <li>対象となる被監視サーバ: 7320H-256</li> <li>障害内容: SwitchのManagerモードにパスワードを設定している場合、Switchの状態によっては保守センタにSwitchの障害ログを送付できない場合があります。 ただし、この場合であっても保守センタへの通報は行われます。</li> </ul>
R5.2	2013.08.26	Agent
		<p>以下の問題を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障害検出にSFMを利用している場合、設定ミスやS/W障害などにより障害検出機能が働かなくなつてもアラームが上がりません。</li> <li>正常性チェック機能を追加し、ユーザ通報で異常を検出することが可能となりました。</li> </ul>
		Manager Windows版 HP-UX版
R5.3	2014.04.07	<ul style="list-style-type: none"> <li>被監視サーバとしてNX7700i/8020B-32, 8040B-64, 8020M-32, 8040M-64, 8080H-128, 8160H-256に対応しました。</li> <li>iStorage Managerに関する通報対象事象を強化しました。</li> </ul> <p>以下の問題を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象となる被監視サーバ: 7020M-16/7040M-32/7080H-64</li> <li>障害内容: R4.8/R4.81～R5.1のマネージャを利用してBMCの内部状態によって、BMCの死活状態を正しく監視できないことがあります。</li> <li>対象となる被監視サーバ: 7320H-256/BE600/BE1000</li> <li>障害内容: R3.0～R5.1のマネージャを利用してBMCの内部状態によって、BMCの死活状態を正しく監視できないことがあります。</li> </ul>
		Agent
		<ul style="list-style-type: none"> <li>被監視サーバとしてNX7700i/8020B-32, 8040B-64, 8020M-32, 8040M-64, 8080H-128, 8160H-256に対応しました。</li> </ul>
R5.4	2015.11.30	Manager Windows版 HP-UX版
		<ul style="list-style-type: none"> <li>NXリモート通報(Manager)が、何らかの原因で起動に失敗した場合、syslog(HP-UX版の場合)または、イベントログ(Windows版の場合)にエラーを出力するようになりました。</li> <li>SFMイベントに関する通報対象事象を強化しました。</li> <li>Managerの死活監視機能の監視開始タイミングを見直しました。</li> </ul>
R5.41	2016.06.06	Manager Windows版 HP-UX版
R5.5	2017.12.26	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイナンバー情報が出力される可能性のあるファイルについて、障害通報時のログ収集の対象から除外する設定を追加しました。</li> <li>iStorage Managerに関する通報対象事象を強化しました。</li> </ul>
		<p>コンソール監視およびOAからのログ採取にsshを利用できるようになりました。</p> <p>Agentの死活監視機能を強化しました。</p> <p>ツールランチャからNXリモート通報の現在の状態が確認できるようになりました。</p> <p>テスト通報機能を強化しました。</p> <p>被監視サーバとしてNX7700i/9010E-16に対応しました。</p> <p>監視サーバOSとして、Windows Server 2016に対応しました。</p> <p>以下の問題を修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障害通報プロトコルにHTTPSを利用している場合、設定によっては障害通報が遅延する問題を修正しました。</li> <li>OSの設定によっては、OSの起動完了が検出できず、障害通報を送信してしまう問題を修正しました。</li> </ul>
Agent		<ul style="list-style-type: none"> <li>Agentの死活監視機能を強化しました。</li> <li>被監視サーバとしてNX7700i/9010E-16に対応しました。</li> </ul>